



令和8年6月23日

令和8年-2

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

港名	川崎港	業種	港湾運送関連事業	
事業場の名称	—		労働者数	14人
事業場の所在地	川崎市川崎区			
雇用形態	常用			
被災労働者氏名	性別	年齢	職種	被災の程度
—	男	57歳	清掃作業員	死亡
発生年月日時刻	令和8年5月28日(木) 12時15分頃			
発生場所	川崎市宮埠頭C号岸壁 (川崎市川崎区千鳥町)			
発生状況	<p>1 被災者と同僚1名の2名で内航船(499トン)と岸壁の間に貨物海上落下防止用のシートを設置する作業を12時10分頃に開始した。岸壁の貨物(フスマ=肥料/バラ貨物)集積場所の3方を囲むように飛散防止用の空コンテナ5本が配置されており、そのコンテナ上から本船側に落下防止用シートを渡し、海上への貨物落下防止を図るものであった。岸壁のコンテナ上の被災者から、本船デッキ上の同僚にシートを手渡し、同僚が本船支柱にシートを固縛する作業を行っていた。(略図参照)</p> <p>2 本船支柱へのシートの固縛作業を行っていた同僚は、被災者の姿が急に見えなくなったため、被災者がコンテナから降りたものと思い、固縛を終えた後、そのまま船積み作業の準備に取り掛かり、12時20分頃、荷役作業が始まった。</p> <p>3 14時30分頃、船首側に貨物を積み込むために本船をシフトし、貨物落下防止用シートを付け替える必要が生じたにもかかわらず、被災者の所在が不明であったため、周囲を複数の従業員等で捜索したが見当たらないため、同僚は15時頃に本社事務所等の関係部署に連絡した。</p> <p>4 15時30分頃、本社事務所より警察、消防に通報し、消防到着後、被災者が海に落ちているのではないかとダイバーにより海中を捜索したところ、17時30分頃海底の被災者を発見し、引き揚げて救急車で病院へ搬送したが、18時27分に死亡が確認された。</p>			
原因	目撃者がおらず原因は調査中であるが、本船と岸壁の貨物飛散防止のための囲い(海上コンテナ)の間の開口部から落下して海中で溺死したと思われる。			
			発信：神奈川総支部 長谷川	受付：市倉

(参考) 死亡者数	5月発生分	令和8年累計	前年同期累計
	1件 1人	2件 2人	1件 1人

